

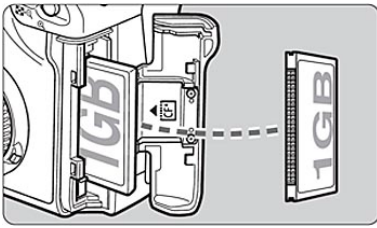
EOS 40D ファームウェア変更手順書

ファームウェア変更に関するご注意

- ファームウェアの変更中にカメラの電源が切れると、カメラの電源が入らなくなり撮影できなくなります。
 - カメラの電源にはフル充電した専用バッテリーパック、または、ACアダプターキット ACK-E2 を使用してください。
 - ファームウェアの変更中は、絶対にカメラの電源スイッチを<OFF>にしないでください。家庭用電源を使用する場合は、停電に十分ご注意ください。
 - また、ファームウェア変更中は、CF カードスロットカバーを開けないでください。
- また、ファームウェア変更中は、ボタン、ダイヤル、スイッチなどの操作を行わないでください。

ファームウェア変更手順

- 以下の説明の中で、“X.X.X”や“x.x.x”は現在のファームウェアのバージョン名、あるいはこれから変更するファームウェアのバージョン名をあらわします。



(1) 使用するCFカードを初期化する

大切なファイルがCFカードの中に残っていないかを、十分ご確認ください。

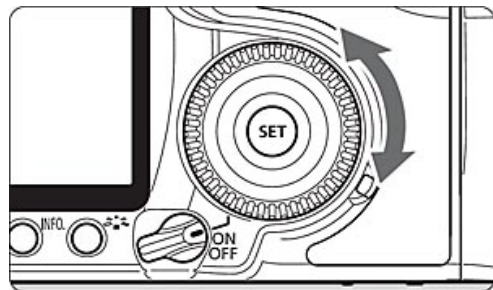
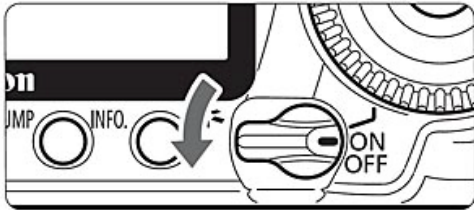
カメラにCFカードを入れて、カメラの電源スイッチを<ON>にします。

<MENU>ボタンを押します。

メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルを回して、[CFカード初期化]を選び、<SET>ボタンを押します。

サブ電子ダイヤルを回して、[OK]を選択し、<SET>ボタンを押します。

カメラの電源スイッチを<OFF>にし、カメラからCFカードを取り出します。



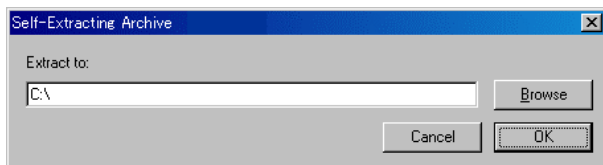
(2) ホームページからファームウェア変更ファイルをダウンロードする。

ホームページから、圧縮された自己解凍形式ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロードしたファイルを解凍し、ファームウェア変更ファイルを生成します。(*1)

ファームウェア変更ファイルのファイル容量を確認します。(*2)
ファイル容量が相違する場合は、ファームウェア変更ファイルをダウンロードし直してください。

ファームウェア変更ファイルの名称は、“40d00xxx.fir”です。“xxx”はファームウェアのバージョンによって異なります)
ファームウェア変更ファイルの名称、容量はホームページで確認できます。



(*1) ダウンロードしたファイルの解凍方法

Windows の場合

ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、左の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、ダウンロードしたファイルが解凍され、ファームウェア変更ファイルが生成されます。

Macintosh の場合

ダウンロードしたファイルは、自動的に解凍され、ファームウェア変更ファイルが生成されます。

自動的に解凍されない場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。

(*2) ファイル容量の確認方法

Windows の場合

ファームウェア変更ファイルのアイコンを右クリック、[プロパティ]を選択します。

Macintosh の場合

ファームウェア変更ファイルのアイコンを選択したあと、[ファイル]メニューの[情報をみる]を選択します。

➤ CF カードリーダーをご利用の場合、(3-1)以降の手順を、CF カードリーダーをご利用にならない場合、(4-1)以降の手順を行います。

(3-1) ファームウェア変更ファイルをCFカードにコピーします。

カメラであらかじめ初期化したCFカードを、カードリーダーに挿入します。

ファームウェア変更ファイルを、CFカードを開いたすぐの場所（ルートディレクトリ上）にコピーします。

CFカードをカードリーダーから取り出します。

※ CFカードをカードリーダーから取り出す際は、パソコン、あるいはカードリーダーの取扱説明書に従って行ってください。

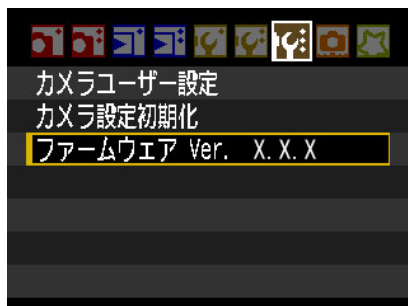
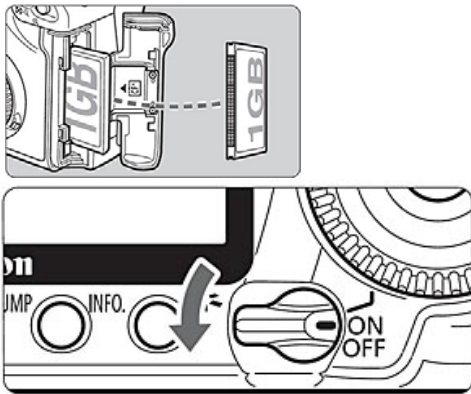
※ CFカードのフォルダ内にコピーすると、カメラがファームウェア変更ファイルを見つけられません。

(3-2) ファームウェアの変更を開始します。

カメラのモードダイヤルを回転し、〈P〉モードなどの「応用撮影ゾーン」に設定します。

ファームウェア変更ファイルが入ったCFカードをカメラにセットします。

カメラの電源スイッチを〈ON〉にし、〈MENU〉ボタンを押してメニュー項目を表示します。

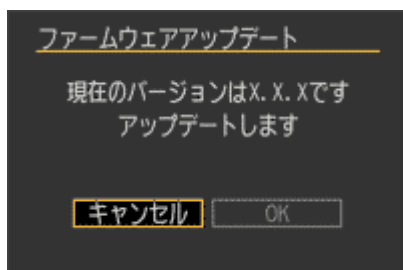


メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルを回して、“機能設定 3 (黄)”の最後にある[ファームウェア Ver. x.x.x]を選び、〈SET〉ボタンを押します。

ファームウェアのアップデート画面が表示されます。

サブ電子ダイヤルを回して、[OK]を選択し、〈SET〉ボタンを押します。

手順(5)以降を行ってください。



※ 液晶モニターに、ファームウェアアップデートの画面が表示されない場合は、CFカードにファームウェア変更ファイルが正常にコピーされていません。もう一度手順(1)からやり直してください。

(4-1) カメラとコンピューターを接続します。

カメラのモードダイヤルを回転し、<P>モードなどの「応用撮影ゾーン」に設定します。


カメラに、カメラであらかじめ初期化したCFカードを挿入します。

USBケーブルでカメラとコンピューターを接続し、カメラの電源スイッチを<ON>にしてください。

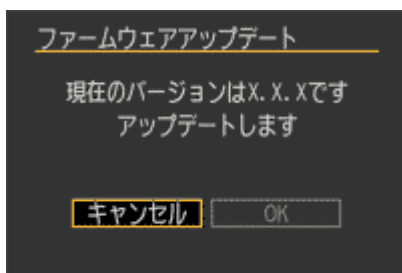
(4-2) ファームウェアの変更を開始します。

コンピューターで、EOS Utility を起動します。

EOS Utility の画面で、[カメラの設定/リモート撮影]ボタンを押します。

[] を押します。

[ファームウェア Ver. x. x. x] を選択します。



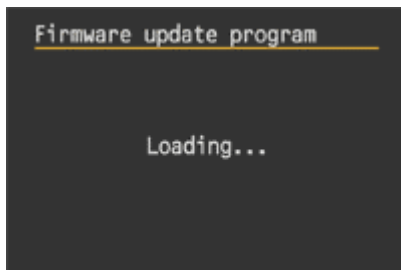
コンピューターに、ファームウェアのアップデート画面が表示されます。
[OK] を選択します。

ファイルの選択画面が表示されますので、ファームウェア変更ファイルを選択し、[開く]を押します。
確認画面が表示されますので、[OK]を押します。

カメラで、手順(5)以降を行います。

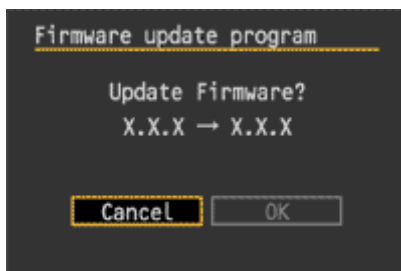
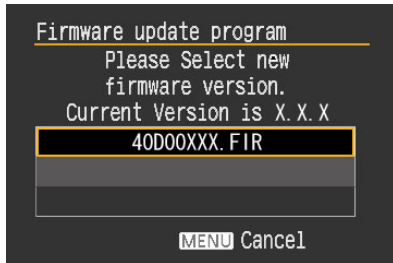
(5) ファームウェアを変更します。

左の画面が表示され、カメラがファームウェアのバージョンをチェックします。

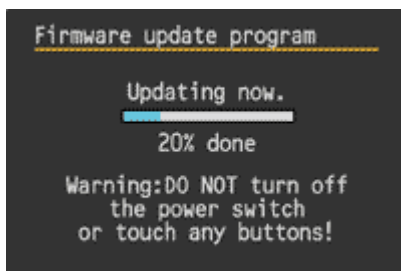


カメラの液晶モニターに左の画面が表示されます。

<SET>ボタンを押すと確認画面になるので、変更するファームウェアの表示を確認したら、サブ電子ダイヤルを回して [OK] を選び、<SET>ボタンを押すと、ファームウェアの変更を開始します。



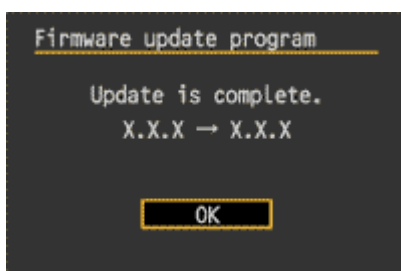
ファームウェア変更中は、液晶モニターに左の画面が表示されます



(6) ファームウェアの変更を終了します。

変更が終わると、液晶モニターに次の内容が表示されます。<SET>ボタンを押すと、ファームウェアの変更を終了します。

以上で、ファームウェアの変更作業は完了です。

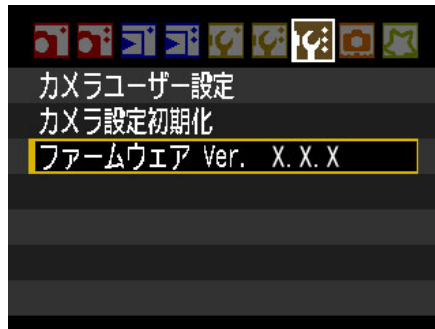


ファームウェアのアップデート作業が完了しましたら、カメラの電源スイッチを<OFF>にし、必ず2秒以上電池を取り出してください。これにより、新しいファームウェアがカメラに反映されます。

ファームウェアの変更に使用したCFカードは、変更作業が完了したら初期化してください。

ファームウェアバージョンの確認

カメラの電源を<ON>にし、<MENU>ボタンを押してメニュー項目を表示します。メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルを回転させると“機能設定 3 (黄)”の最後に[ファームウェア Ver. x. x. x]があります。そこに表示されている番号がカメラのファームウェアのバージョンです。



* 撮影モードは、<P>モードなどの“応用撮影ゾーン”をお選びください。“かんたん撮影ゾーン”では、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ファームウェア変更中にエラーが表示された場合

万が一、ファームウェア変更中に、エラー画面が表示された場合は、電池を抜いて、電池の容量やCFカードのファームウェア変更ファイルに問題が無いかご確認ください。

問題なければ再度変更操作を繰り返してください。

それでも変更できない場合は、弊社「お客様相談センター」または「修理受付窓口」にご相談ください。

